

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 9月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100013
法人名	社会福祉法人 佳成会
事業所名	グループホームてらやま
所在地	鹿児島市吉野町6, 581番地2 (電話) 099-243-8811
自己評価作成日	令和 1年 6月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和元年9月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の郊外に位置し、周りを新緑に囲まれ、近隣には花が咲き、施設から見える桜島は四季折々の姿を見せてくれる。この素晴らしい景観は入居者様にとっても喜ばれております。

毎日のレクリエーションや体操、毎月の行事(お花見・運動会・クリスマス会など)を行い、充実した日々を過ごして頂けるよう努めています。また、近隣の散歩や地域行事(夏祭り)に参加させて頂き、地域の方々とのふれあいを大事に、社会とのつながりも充実しております。

入居者様の馴染みある暮らしの延長線上に、自分らしく安心した生活を送る環境作りに努め入居者様がいつも笑顔で過ごせる、そして職員も笑顔で過ごせる事をモットーに日々のケアに努めています。

職員は、内外研修に参加し、一人ひとりのスキルアップを図り、チームケアとして資質向上に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、鹿児島市吉野支所から車で10分弱の自然豊かな農村地帯に設置されており、周辺には同法人の特別養護老人ホームやサービスセンター、個人住宅などがあるが、騒音等は無く落ち着いて生活できる環境である。開設して11年が経過し、地域密着型サービス事業所として地域住民に周知されて、日常的に密な交流が図られており、地域のイベントへの参加や、散歩時の会話、友人知人の来訪、ボランティアや施設見学の受け入れ等に積極的に取り組んでいる。また、地域住民から寄せられる様々な福祉に関する相談には専門性を活かして適宜、助言等行っている。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が地域の中で、その人らしく生きがいのある暮らしができる支援に日々努めており、利用者の意欲や意思を尊重し、心身の状況に配慮した利用者主体のケアに取り組んでいる。また、利用者や家族からの意見や要望の把握に努め、ケース会議等で協議してサービスの改善に取り組んでおり、厚い信頼関係が築かれている。

管理者は、日頃から気軽に意見が言い合える雰囲気づくりに努め、日頃の業務の中やケース会議等で職員の意見や要望を把握し、必要に応じて個人的事情も配慮しながら運営やサービスの向上に反映させており、信頼と協力の体制を構築している。スキルアップを図る研修の実施や業務に対する助言・指導を積極的に行い、勤務シフトには可能な限り本人の意向を反映させるなど、職員の意欲向上及び働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念は事業所内に提示しており、理念がケアに反映されるよう職員ひとりひとりが意識しながらケアに努めている。	地域密着型サービス事業所の意義を踏まえた理念は、法人の理念「私どもの5つのS」と共に玄関に掲示し、唱和や研修も実施して周知を図っている。毎月の職員会議やケース会議等でケアの振り返りや意見交換を行い、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	夏祭りなど地域行事に参加することで、少ない機会ながらも地域の方々と交流を大切にしている。	自治会に加入しており、総会への出席や地域の清掃活動や夏祭りなどに参加している。ホームの防災訓練には家族や地域住民の参加が得られ、施設見学や中・高生の体験学習、踊りや楽器演奏のボランティア等を積極的に受入れている。日頃の散歩や買い物時には挨拶や会話を交わし、農産物を頂くなど円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	相談に来られた方には、グループホームの説明や近所の方は行事参加で認知症の方々と触れ合うことで理解につなげている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回偶数月に町内会長、民生委員、ご家族様に参加していただき、意見交換や情報提供をいただき、サービス向上に活かしている。	会議は、町内会長、民生委員、家族等が出席して定期的開催している。ホームの現状や課題、行事計画、活動内容、外部評価の報告等を行い、委員からはケアや行事に関する質問や評価、地域の高齢者の情報等が出されて熱心に意見交換し、併せてテーマを設けての研修も実施している。職員は協議内容を会議録で共有し、サービスの向上に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護受給者の入居者様もいらっしゃる為、福祉課の担当者とは病院受診や入退院時に報告連絡をし、協力関係を築いている。	市担当職員には、介護保険の認定や各種制度の手続き、ケアや運営に関する相談等を行い、助言・指導を受けるなど日頃から協力関係を築いている。生活保護受給者が7人入所中で、担当ケースワーカーとは健康状態や入退院の連絡等密に連携しており、また介護相談員も受け入れている。市主催の会合や研修会に積極的に参加して、業務やサービスの改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、勉強会で取り上げ、現状の確認や見直しをして、利用者の安全を重視したケアに努めている。	身体拘束や高齢者虐待については計画的に研修を実施し、適正化を図る委員会も3カ月毎に開催して事例研修や意見交換等で理解を深め、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。昼間は施錠は行なわず、職員は連携して利用者の見守りや対話、寄り添いに努め、利用者の意向や尊厳を大切に安定を図っている。適切な言葉づかいに、日頃から心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な高齢者虐待委員会の開催と日頃から職員同士で声掛けなどに問題がないかチェックし、気になることがあれば申し送りなどで気をつけるよう話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を理解するために、資料やパンフレットを用いて勉強会を設けている。必要な方が活用できるような支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項や契約書について十分な説明を行い、理解して頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が意見や要望を気軽に話していただけるような雰囲気作りに努めるとともに、入居者様にも配慮し、運営に反映できるよう努めている。	日頃の会話や仕草、独自のサイン等で利用者の気持ちの理解に努め、家族とは来訪時の対話や運営推進会議、家族会などで、気軽に意見を述べてもらえるような雰囲気づくりに努めて要望等を把握している。併せて年1回家族アンケートの実施や意見箱の設置、お便りの送付等、意見を出しやすいように工夫している。得られた意見、要望等は、職員全員で協議して改善に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のケース会議や毎日の申し送りの時、職員が意見や提案をしやすい環境作りに努め反映させている。	管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションに努め、業務の中やケース会議、申し送り等で意見や要望を把握し、個人的な事情等も配慮して改善に取り組んでいる。業務の改善は全員で協議し、スキルアップを図る研修を計画的に実施し、休暇取得の促進や勤務シフトに職員の意向を反映させるなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勉強会や行事の担当を任せることで、やりがいを持ち、互いに円滑なコミュニケーションがとれるような環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の職員会議での研修やケース会議内の研修にて様々な状況に対応できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>「よかど会」などの交流にて研修や意見交換などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が不安や希望などを言いやすい環境、雰囲気作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス内容を詳しくお話し、要望や不安なことなど話やすい関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現状を把握できるよう、情報提供書やご本人の状態などでケアプランを作成し、サービスに努める		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来る事などを探し、無理せず一緒にお手伝いしていただくよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等の案内を連絡したり、2か月に1回の近況報告にてご本人の状態がわかるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に面会できるような雰囲気作りに努めている 面会に来られた時は、ゆっくりお話しできるようお茶を出したり、気軽に外出外泊できるように行っている。	利用者毎に生活歴や家庭環境等を把握し、馴染みに関する情報を共有している。家族や友人等の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに配慮し、買い物や一時帰宅、外食、墓参等を家族と連携して支援している。遠方の家族にはお便りで近況を伝え、電話や手紙等の取り次ぎも行なうなど、利用者の状況に応じた取り組みを工夫して関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆様に楽しめるゲームや歌など楽しんでいただけるよう努め、個々にならないよう気配りを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されても病院や特養などに出かけ、お顔を拝見し、話をしたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションからご本人の思いを汲み取り、潜在的な思いに気付くことができるように努めている。	利用者の想いに沿ったケアを大切にしており、日頃の会話や表情、仕草等で意向を把握し、その人らしい生きがいのある暮らしとなるように努めている。全員での活動に加え、余暇時間の趣味や家事（洗濯物たたみ、テーブル拭き等）の取り組みを、利用者の意向や心身の残存機能等に配慮しながら個別の支援にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの基本情報を頭に入れ、ご本人の生活歴や好みご家族から得られる情報などを職員間で共有し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間での情報交換を行ったり、個々にできる事をその日の心身状態に合わせて行うようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のケース会議やモニタリングを通して、意見交換や情報収集を行い、職員それぞれのアイデアを反映して、介護計画を作成している。	本人・家族の意向や主治医の意見等を把握し、3カ月毎のモニタリングやケース会議時の意見を基に利用者主体の介護計画を作成している。ケアの実施状況は「業務日誌」「バイタルチェック表」「申し送りノート」等に具体的に記録して共有を図っている。心身の状況の変動時には計画を修正する等、実状に即した計画に変更して改善に取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>状態変化時やご家族の面会、電話内容、1日の流れや気づいた事を個人台帳に記録し、職員間で情報共有し、必要に応じてプランを見直せるように努めている。</p>			
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人やご家族のその時々ニーズに対応し、多機能の様々な支援やサービスができるように取り組んでいる。</p>			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事等でボランティアを受け入れ、入居者様が安心安全な暮らしを楽しむことができる様に支援している。</p>			
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医による月2回の定期往診を行っており、必要があれば、ご本人、ご家族に説明し、他科受診を行えるよう支援している。</p>	<p>各利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受療を支援しているが、殆んどが協力医療機関を主治医としている。定期的な訪問診療が実施され、他科受診は家族と連携して対応している。日頃から健康管理を徹底し、協力医療機関との医療連携の体制も構築されて、利用者及び家族の安心に繋がっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は常に情報を共有し、状態変化に気付いたら速やかに協力病院の看護師に報告、連絡、相談を行い、指示や助言をもらい適切な受診や看護を受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院の際は医療機関との情報共有に心掛け、入院中は職員が面会に伺い、病院スタッフに現状を聞いたり、情報交換を行い、早期退院できるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族の意見をもとに話し合い、主治医とも連携をとり、ご本人にとってより良い環境を作り、支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期のケアの方針を「医療連携体制」で整備しており、利用開始時に本人及び家族に説明して同意を得ている。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族及び関係者は十分話し合っ、ホームで可能な限りの支援に努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時、事故発生に備えて、マニュアルがあり、しっかりと対応できるよう定期的に内部研修を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災訓練時の対応は、定期的な訓練を行っている。また訓練に年1回は地域の方も参加していただき行っている</p> <p>地震、水害等も階差訓練同様に慌てず、地域や職員間の連携を持って、行っていく。</p>	<p>年2回夜間想定を含む災害訓練を消防署の協力で実施し、併せて、連絡網や避難経路の確認等の自主訓練を年2回行っている。マスコミによる災害情報をもとに意見交換し、不審者侵入防止のために夜間の施錠は定期的にチェックするなど、日頃から防災への取り組みに努めている。同法人の事業所や周辺の住民との協力体制も構築されている。自家発電機やスプリンクラーや緊急通報装置を設置し、ヘルメット、懐中電灯、ラジオ等の整備や飲料水や食糧品、介護用品を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊厳を守り、一人ひとりの身体状況や精神面など把握し、声掛けや対応への配慮を行っている。	利用者の尊厳やプライバシー確保については、職員会議やケース会議の中での研修の実施やケアの振り返り、意見交換等を行って、各利用者の身体状況や生活習慣に配慮した適切なケアの実践に努めている。更衣や排泄、入浴時のケアに際しては人格や羞恥心に特に配慮しており、居室やトイレ、浴室等はプライバシー保護に配慮した構造となっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人に合わせて続話やゆっくりと聞き取り易い表現で声掛けを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の趣味嗜好や出来る事の見極めを行い、活動量を増やしていける様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴時など入居者様と一緒に洋服を選んでいただいている。また、2か月に一度の訪問カット（散髪）や整容（爪切りなど）の援助も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全員、食事メニューは同じものを提供しているが、その方に適した量、食事形態にて対応している。また料理や片付けなど出来る方は一緒に行っている。	疾病に伴う食事制限や形態、栄養バランス、嗜好等に配慮した基本メニューを法人の管理栄養士が作成しており、菜園や頂いた野菜等も活用して調理している。食材の下ごしらえや片付け等は利用者も一緒に楽しみながら取り組んでいる。季節の行事食や、手作りのおやつ、外食、流しソーメン、家族との会食など食事が楽しみなものとなるよう工夫し、利用者毎に食事や水分の摂取状況を把握し、口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月初めに水分チェックし、水分量を把握している。3か月に1回は栄養スクリーニングを行い、食事摂取等の把握と毎月の体重測定を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、出来る方はご自分で行って頂き、介助が必要な方はその方に応じた口腔ケアを行って、義歯や口腔状態の把握に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンの把握に努めている。ズボンの上げ下げなど出来る所は行っていただき、介助している。また、排泄の確認も行っている。	利用者の自尊心や習慣等に配慮し、個々のパターンや身体状態に合わせた支援を心掛けている。羞恥心等に配慮した声かけに努め、可能な限りトイレでの排泄を支援しており、家族にも相談しながら排泄用品の工夫も行って改善に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	レクリエーション時にラジオ体操など体を動かして頂き、水分量や食事（野菜など）への配慮を行っている。排便困難な方は医師の指示に従って、下剤服用も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴になっているが、ご本人の希望に応じ、入浴日を変更したり、好きな時間に入浴していただいている。	週2回の入浴を、利用者の心身の状態に合わせて個浴で支援しており、温度や入浴日、時間などは柔軟に対応し、ゆっくりと気持ち良く楽しめるように配慮している。入浴後は水分の補給や皮膚疾患の処置を支援している。入浴をためらう利用者には、無理強いないで時間や順番、声掛け等を工夫して本人が意欲を待つように努め、入浴が職員との親密なコミュニケーションの場にもなっている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はご自分のペースで生活していただいているが、昼食後はご自分の部屋で昼寝をしたりして休んでいただいている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の重要性を理解しており、確実に服用していただくように声掛けや飲み込みまで確認している。また投薬後はダブルチェックして事故防止を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常的に複数のご入居者の方に、一緒に洗濯物のたたみを手伝っていただいている。同じテーブルで複数の方と一緒に作業を行うことにより、連帯感を養って頂けるよう努めている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	人的制約のある中、初詣やお花見等季節に応じて外出できるように努めている。また、ご家族の協力を得て、外泊や外出なども行っている。	利用者の健康状態や天候に配慮しながら、本人の希望に沿って園庭や周辺の散歩、日光浴、菜園の花や野菜の収穫、買い物などを日常的に支援している。また、初詣や地域の夏祭り、季節の花見、ドライブを兼ねた外食など全員での外出も実施している。家族との墓参りや買い物、一時帰宅、外泊等も積極的に勧めて利用者のリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	現金を所持されている方は、盗難防止のためお預かりしているが、ご本人の希望を聞いて品物の購入に努めている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	施設の中に公衆電話を設置していつでも電話がかけられる状況にある。ご希望があれば手紙などを出すお手伝いをするようにしている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	施設内は落ち着いた色を基調として、ホール内はその季節に応じた飾り付けをして、季節を感じて頂けるように工夫している。	ホーム全体がバリアフリーの構造で、廊下やリビング等は余裕のあるスペースが確保されている。随所に利用者の写真や貼り絵等の作品、活花などが飾られ、清掃や空調、感染症予防に配慮して、和やかで清潔感のある空間となっている。対面式のキッチンからは、調理の音や匂いが伝わり、テーブルセットやテレビ、ソファ等が動線や利便性に配慮して設置されている。園庭には菜園も設けられて、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穏に過ごしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ホール内では食事用のイスやテーブルのほか、ソファやテレビを置いて自由にくつろげるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>新規入居者に対して、日頃から使い慣れた物や好きな物を持ってきていただき、不安感の解消や早く慣れて頂けるように努めている</p>	<p>利用者が安全に寛げる居室づくりを大切に支援しており、使い慣れた家具や家族写真、テレビ、ラジオ、小物等が持ち込まれ、自身の作品や花も飾り、家庭同様に居心地良く過ごせる雰囲気になっている。掃出し窓にフローリング仕様の居室にはエアコン、ベッド、収納ケースが備えてあり、利用者の意向を確認しながら整理整頓に取り組んでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご入居者様のできる事に対しては見守りでやっていただけるように努めている。ただし、体調不良時や行動不穏時には積極的に介助する</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない